

収穫期到来

～いよいよ秋本番!!～



用途別	面積 ha	粗麦推定数量 俵	製品推定数量		規格外 俵
			俵	歩留 %	
一般きたほなみ 【反収】	647.52	50,521 【7.80】	42,943 【6.63】	85.00	7,578 【1.17】
前年		(11.58)	(11.14)	(96.18)	
種子きたほなみ 【反収】	54.95	4,940 【8.99】	4,470 【8.13】	90.49	470 【0.86】
前年		(12.02)	(11.51)	(95.75)	
合計 【反収】	702.47	55,461 【7.90】	47,413 【6.75】	85.49	8,048 【1.15】
前年		(11.61)	(11.17)	(96.14)	

8月7日に収穫を終えた小麦は、約648haの一般きたほなみの粗麦推定数量が約5万5百俵、10a当たり7.80俵（製品推定数量は約4万2千俵、10a当たり6.63俵、製品推定歩留85%）となっています。前年と比べ粗麦数量は反収3.78俵、製品数量は

反収4.51俵下回る見込みとなっています。

種子きたほなみについては約55haで粗麦推定数量が約4千9百俵、10a当たり、8.99俵（製品推定数量は約4千4百俵、10a当たり8.13俵、製品推定歩留90%）となっています。前年と比べ粗麦数量は反収3.03俵、製品数量は反収3.38俵下回る見込みとなりました。

北海道十勝総合振興局の調べでは、8月上・中旬は高気圧に覆われ晴れた日が多く、上旬には真夏日となる地域も多くありました。台風の影響で強い雨が降りましたが、平均気温は平年より高く、降水量も平年並み、日照時間は多い傾向にありました。十勝管内の作物は平年並みか、やや遅い生育状況となっています。

十勝管内の作物生育状況（8月15日現在）

作物名	区分	生育概要	平年比	評価	遅速日数
甜 菜	草 丈	63.0cm	100%	平年並	±0
	根 周	30.7cm	100%	平年並	
馬鈴薯	茎 長	64.5cm	91%	やや短い	遅1
	茎 数	3.7本/株	105%	平年並	
大 豆	草 丈	65.0cm	88%	短い	遅4
	着莢数	320.5個/㎡	72%	少ない	
小 豆	草 丈	48.1cm	87%	短い	遅4
	着莢数	117.5個/㎡	66%	少ない	
牧 草	2番草丈	79.8cm	100%	平年並	±0
	サレージ トウモロシ 稈 長	237.9cm	87%	短い	

女性部下部組織ボウリング大会



6月22日にスズランボウルにて札幌農協女性部下部組織交流会が開催され、19名の部員が参加しました。

この事業は相互の交流を図り、農作業の合間のひと時を楽しもうと、毎年1回女性部と下

部組織が実施しています。

ボウリングは各団体混合の組み合わせでプレーが行われ、熱戦が繰り広げられました。ボウリングの後はフードスタジアムでの懇親会となり、女性部活動や農協事業についての話が出る中、和やかに親睦を深めました。

女性部友の会 夏期研修

6月28日に女性部友の会による夏期研修が開催され、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所（ワイン城）と音更町にある産直市場ららマルシェへ行って来ました。

日本初の自治体ワインで知られるワイン城では、通常の見学では見る事が出来ない場所を案内してもらい、樽熟成・ビン熟成・スパークリングワイン製造・年代物のワインを見学し、熟成室内の温度・湿度・ビン熟成中にコルクに付着したカビのにおいなどを体感してきました。また、ブドウの栽培やワインの製造方法、コルクや樽について、展示室内のパネルで詳しく学びました。

ららマルシェでは、音更町の農家の方がこだわりをもって栽培している野菜や畜産加工品などを購入してきました。

参加された皆さんは、移動中も話が弾み、有意義で楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

夏の廃プラ回収

7月7日に廃プラ回収が当農協馬鈴薯倉庫で行われました。肥料袋やパック、ラップフィルム等の農ビ・農ポリを組合員各自が自宅でパック詰めした後、馬鈴薯倉庫に持ち込み、担当職員がパック1つずつ確認しながらトラックから降ろしていきました。

回収された廃プラは約29tで、主に（株）苫小牧清掃社へ運び込まれ、再資源化され多方面で利用されます。



年に2回行われている廃プラ回収は、次回11月上旬の予定となっています。

組合長杯パークゴルフ大会



7月16日、ちろつの森コースにて組合長杯パークゴルフ大会が開催され、組合員45名が実力を惜しみなく発揮しようと36ホールを全力でプレーに臨みました。

組合長の挨拶で始まったパークゴルフ大会は、最後まで熱戦が繰り広げられました。男性の部では優勝・準優勝の2名が同スコアとなり、男女共に拮抗したスコア争いが繰り広げられました。

当日は天気にも恵まれ、絶好のパークゴルフ日和となり、青空の下で爽やかな汗を流すことができました。



料理サークル～8月例会～



8月8日、料理サークルによる8月例会が百年記念ホール調理室で行われました。今回は参加者8名で、「ライスコロッケ」「豆スープ」「ピクルス」等を作りました。

中でもライスコロッケは米を衣で包み、揚げた一品で、味も然る事ながら、ボリューム満点でした。ピクルスは味が良く染み込んでいて、歯応え抜群でした。

完成した料理はどれも色鮮やかな出来栄となり、味も大満足のいくものばかりとなりました。会話の弾む楽しい昼食会となりました。

女性部下部組織 生涯学習



8月10日に農協2階会議室にて札幌農協女性部による生涯学習が開催されました。

内容は『トンボ玉』作りで、部員、お子さん合わせて14名が参加しました。前年までは女性部で行っていた生涯学習ですが、今年は銀鈴会、さくらんぼの会、友の会等にも声を掛け企画されました。小学校が夏休みという事もあり、部員のお子さんもたくさん参加してくれ



ました。

「トンボ玉」とはガラス棒をバーナーで炙り、溶けたガラスを芯棒で巻き取り作る玉で、巻き取った玉にはそれぞれ模様を付けて、オリジナルのキーホルダーやネックレスにしていきました。

バーナーでガラス棒を熱し、芯棒に巻き取る工程は、溶かしたガラスの温度を見極めて巻き取らなければならない、玉に気泡が入ったり、綺麗な球体にならなかったりと、皆さん悪戦苦闘していました。最後には、オリジナルのキーホルダーやネックレスが作れてお子さんも、部員の皆さんも大満足の様子でした。

女性部 1 日バス研修 北見・美幌・網走

8月17日に札幌農協女性部で1日バス研修が開催されました。行先は北見市・美幌町・網走市方面で、部員5名が参加しました。

北見市では「ハッカ記念館」に立ち寄りしました。ハッカ産地で栄えた当時の北見市を、写真パネルで見る事が出来ると同時に、ハッカの製造方法や結晶化したハッカを見て勉強してきました。興味深い展示が多く、皆さんまだまだ見足りない様子でした。



美幌町で昼食をとった後、網走市へ移動して向かった「流氷記念館」は、流氷とオホーツク海の生き物をテーマとした観光施設で、流氷の天使と呼ばれる「クリオネ」を間近で見る事が出来ました。最後に見学した博物館網走監獄は、明治以来、網走市と深く関わりを持っていた網走刑務所旧建造物を保存公開している野外博物館です。網走監獄の歴史と、再現構築・移築復原された展示施設を部員の皆さんは真剣に見学していました。実際に使われていた建物を間近で見る事が出来て、監獄での生活を肌で感じる事が出来たと、皆さん充実した1日を送る事が出来ました。

第8次中長期計画策定会議開催

第8次中長期計画策定にあたり、第1回中長期計画策定会議が6月30日、第2回中長期計画策定会議が7月20日に開催されました。各部2～4名の策定計画メンバーが集まり、

平成29年から平成33年までの5年間の農業振興計画・農協運営計画について話し合われました。



第1回会議では、策定方針及び策定手順について話し合われ、第7次中長期計画策定同様、「組合員アンケート」による組合員意向調査の実施が決定されました。

第2回会議では、組合員意向調査の具体的な進め方と現状分析のとりまとめについて話し合われました。組合員の皆様にご記入していただいたアンケートと、各部からとりまとめた現状分析に基づき、課題と問題解決、年度別に見た農協の運営計画を今後、策定会議にて話し合われる事になっています。

農業や農協を取り巻く情勢は不透明であり、地域農業振興に向け、組合員、役員、職員が一丸となり目標に向かって邁進していく事が重要な時代です。組合員の皆様には中長期計画策定の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い致します。